



令和4年5月31日 鈴鹿市立稲生幼稚園



No.2

あかるく たのしい いのうようちえん



こんにちは、稲生幼稚園です。風薫る5月の様子をお知らせします。

幼稚園では、「きらきらタイム」として、1日15分程度を目安に体を動かす遊びの時間を設定しています。そして、年2回、25m走、立ち幅跳び、ボール投げ、両足連続跳び越し、体支持持続時間を測定して、「体力測定カード」に記入して保護者に伝えています。体力測定で良い結果を出すことが目的ではなく、幼児期に様々な遊びを通して安定した動きができるように自分の身体をコントロールする能力を育てることを目的としています。幼児期は、発達の個人差が大きいため、運動遊びを楽しみながら運動能力を身に付けられるようにしています。

5月9日(月)、ジャガイモの収穫をしました。土の中から大きささまざまなジャガイモが出てくるときに、驚いたり、楽しんだりしていました。11日(水)、ジャガイモの収穫をした後の畑には、夏野菜の苗を植えました。



5歳児さくら組は、自分でも育てたい野菜を決めて、一人一鉢ずつ苗を植えました。夏になったら色水遊びができるようにと計画して朝顔の種も蒔きました。4歳児もも組は、みんなで保育室前のプランターに夏野菜の苗を植えました。園児たちは、登園すると自分の植木鉢のミニトマト、ナス、ピーマン、キュウリ、オクラの

苗に水やりをした後で、畑の野菜にも順番に水をあげています。

これから子どもたちが、花が咲いたり、実がなったりしていく様子に気付いて感動し、収穫した野菜を食べるうれしさを感じられる活動にしていきたいと思います。



5月23日（月）の2～3限目に、稲生小学校の運動会リハーサルを見学に行きました。2年生のダンシング玉入れでは、一緒に踊りをまねしながら見ている子もいました。今年は、小学校運動会への幼稚園児の参加は辞退しましたが、小学生の様子を見学することで、園児が小学校生活を身近に感じ、小学生にあこがれの気持ちをもつことにつながる貴重な時間となりました。小学校の先生方、児童の皆さん、どうもありがとうございました。



今年度は、家庭教育学級として年3回、親子で学ぶ食育劇を予定しています。5月26日（木）は、食育コーディネーターの奥山さんと依田さんをお招きして、第1回食育劇「合言葉は、毎日バナナうんち！」の参観を行いました。親子で一緒に室内行事はコロナ禍で昨年まで控えていたので、久しぶりの開催となりました。

うんちはくさいとか汚いという嫌なイメージでみてしまいがちですが、私たちの体が元気かどうかを知らせてくれる大切なお便りであることから、毎日うんちが出ないと、体からのお便りが毎日届かなくて、元気かどうかわからないことを、からだ博士が教えてくれました。

そして、食べ物がどのようにみんなの体の中を通り、栄養をとって、最後にうんちになって出てくるのかを見せてくれました。また、バナナうんちが出るためには、赤・黄・緑の食べ物をバランスよく食べることが大切であることを、赤・黄・緑の食レンジャーから学びました。次回は2学期の開催を予定しています。



稲生幼稚園 PTA では、環境教育も兼ねて廃品回収をしています。アルミ缶、新聞紙、雑誌、段ボールがあれば、親子で持ってきて、空き保育室に集めています。